認知症ケア加算1の施設基準に係る届出書添付書類

1	認知症ケア	に係るチー	ムの構成員
	のい ヘロ カエーノーノー	1 – M. O. J	

区 分	氏 名	備考
ア 専任の常勤医師	□常勤換算	精神科・神経内科
	口。市到授并	経験年・研修受講
組み合わせた場合を含む	□常勤換算	精神科・神経内科
祖の百りせに場って召り	口 吊到揆昇	経験 年・研修受講
ノ 東バの労働手港は		経験 年
イ 専任の常勤看護師 		週時間
ウ 常勤社会福祉士又		経験 年
* *************************************		社会福祉士
は常勤精神保健福祉士 		精神保健福祉士
エ 2の44の 学		理学療法士・作業療法士
エーその他の者		薬剤師・管理栄養士

2 認知症ケアに係るカンファレンス等の実施状況

カンファレンスの開催頻度	チームによる回診の頻度
回/週	回/週

3	認知症ケアチー	-ムによる認知症患者に関わる職員を対象とした研修の実施
	回数	回/年

4 病棟看護師等のチームによる研修又は院外の研修の受講状況

①認知症患者に関	② ① のうち	③ ① のうち	④ 受講率
わる全ての病棟の	前々年度以降に研修	今年度中に研修を受	(2+3) /1
看護師等の数(人)	を受講した看護師等	講する予定の看護師	
	の数(人)	等の数(人)	
			%

5 認知症患者のアセスメントや看護方法等に係る適切な研修又は院内研修を 受講した看護師の配置状況(原則全ての病棟に1名以上配置が望ましい)

			研修の別
届出病棟名	氏	名	(該当するものに「✔」を記
			入)
			口院外研修 口院内研修
			□院外研修 □院内研修

□院外研修 □院内研修
□院外研修 □院内研修

6 認知症ケアに関する手順書(マニュアル)の作成状況

(□には、適合する場合「✓」を記入すること。)

作成/配布		手順書に含まれている内容
口作	成	□身体的拘束の実施基準
口周	知	□鎮静を目的とした薬物の適正使用

7 せん妄に関するチェックリストの作成状況

(口には 適合する場合「ノ」を記入すること)

チェックリストの作成状況
口せん妄のリスク因子の確認のためのチェックリスト
口せん妄のハイリスク患者に対するせん妄対策のためのチェックリスト

[記載上の注意]

- 1 「1」のア~エについては、次の通りとすること。
 - ア 精神科もしくは神経内科の医師、あるいは研修を受講した医師のうち、該当する要件を〇で囲み、精神科もしく は神経内科を主たる業務とした経験が3年未満の場合は適切な研修を修了したことが確認できる文書(当該研修の 名称、実施主体、修了日及び修了者の氏名等を記載した一覧でも可)を添付すること。また、週3日以上常態とし て勤務しており、かつ、所定労働時間が週 22 時間以上の勤務を行っている専任の非常勤医師を組み合わせて認知 症ケアチーム業務を実施している場合には、当該医師の「常勤換算」の□に「✓」を記入すること。
 - イ 認知症看護に係る適切な研修を修了していることが確認できる文書(当該研修の名称、実施主体、修了日及び修 了者の氏名等を記載した一覧でも可) を添付すること。また、当該業務に従事する 週当たりの勤務時間を記入すること。

 - ウ 該当する職種を〇で囲み、認知症患者又は要介護者の退院調整に係る経験がない場合は介護支援専門員証の写し を添付すること。
 - エ 該当する者がいる場合に記入し、該当する職種を〇で囲むこと。
- 2 「2」及び「3」については、実施されている又は行われる予定の場合はその回数について、記載すること。
- 3 「4」について、①には認知症患者に関わる病棟看護師等の数を記載し、②には、①のうち院内あるいは院外の研 修を受講した数、③には受講予定数を記載すること。なお、③には②に計上した看護師等の数を含まないこと。
- 4 「5」について、認知症患者のアセスメントや看護方法等に係る適切な研修又は院内研修を受講していることが確 認できる文書を添付すること。
- 5 認知症ケアチームが当該医療機関において組織上明確な位置づけであることが確認できる文書を添付すること。